

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号：D-1-6 事業名：橋本堀添線道路整備事業（市街地相互の接続道路）		
事業費：総額 3,405,971千円 国費 2,639,628千円 （内訳：役務費429千円、用地費357,358千円、補償費17,972千円、 測量設計費221,858千円、工事費2,808,354千円）		
事業期間：平成24年度～令和2年度		
事業目的：本路線は、高盛土構造による冠水対策を講じ、有事の際の救出・避難路としての役割を担うと共に大津波からの避難時間の確保、浸水範囲の減少、建物被害の軽減等の多重防御による減災効果を図るものであり、本線の西側における、開墾場地区、長瀬浜地区、野地地区及び浜吉田地区（防集2地区含む）の集落地が存在しそれらを守るための避難道路整備である。		
事業地区：吉田地区		
事業結果：町道橋本堀添線 L=4,375m W=11.5m 鳥の海八景と吉田地域を結ぶ産業・観光道路としての役割を果たし、「なりわい」と「にぎわい」のまちづくりを図っている。また、高盛土構造による避難道路であるため、有事の際の救出・避難路としての役割を担い、共に大津波からの避難時間の確保、浸水範囲の減少、建物被害の軽減等の多重防御による減災効果に寄与している。		
事業の実績に関する評価		
① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 ○当該事業で整備した避難道路は、吉田地域を結ぶ産業・観光道路としての役割を果たしており、有事の際の救出・避難路としての役割も担い、共に大津波からの避難時間の確保、浸水範囲の減少、建物被害の軽減等の多重防御による減災効果に寄与している。上記を踏まえ、本事業は事業目的に即した効果を発揮していると判断する。		
② コストに関する調査・分析・評価 ○本事業は工法検討や経済比較などを実施し、土木工事積算標準書を用いるなど合理的な設計積算のもと事業を推進したため、事業費は妥当と判断する。		
③ 事業手法に関する調査・分析・評価		
	想定した事業期間	実際に事業に有した事業期間
測量・設計	平成24年6月～平成25年3月	平成24年8月～平成28年6月
用地	平成25年4月～平成25年9月	平成26年6月～令和元年11月
工事	平成25年7月～平成31年3月	平成27年8月～令和3年2月
○本事業は平成24年8月から事業に着手し、用地交渉など行いながら令和3年2月に工事を終えており、当初想定した期間より時間を要したが、競争入札方式などを採用するなど、事業手法としては妥当であったと判断する。		
事業担当部局 亘理町都市建設課都市整備班 電話番号：0223-34-0507		